

トヨタ紡織、日本政策投資銀行から DBJ 環境格付で 最高ランクを取得

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：沼 毅）は、このたび、株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）の「DBJ 環境格付」で「環境への配慮に対する取り組みが特に先進的」という最高ランクの格付を取得しました。

「DBJ 環境格付」融資は、DBJ が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化、優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するという融資制度です。

今回の格付では、特に以下の取り組みが高く評価されました。

- 1) 長期環境目標として「2050年環境ビジョン」を策定し、経営層をトップとするグローバルな体制のもと、「ライフサイクル CO₂排出ゼロにチャレンジ」を掲げ、環境に配慮した工程改善や設備開発のみならず、大幅な軽量化や植物由来・リサイクル材料の活用拡大について目標を設定し、最終製品である車両の燃費性能向上に取り組んでいる
- 2) 中期経営計画で掲げる「社会との調和ある成長」を目指し、「経済的価値」と「社会的価値」の同時拡大を実現する経営管理体系を新たに定め、ステークホルダーを軸とした KPI を具体化するなど、社長をトップとした CSR マネジメント体制の強化に努めている
- 3) 2030年のありたい姿を定義し、快適・安全・環境を重点領域として、多様な分野との連携を強化しイノベーションを加速させるべく「新価値創造センター」や社外有識者で構成される「テクニカルアドバイザーボード」を新設し、R&D を拡充・強化している

トヨタ紡織はこれからも、世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社として“QUALITY OF TIME AND SPACE” —すべてのモビリティへ上質な時間や空間を提供し、すべてのステークホルダーから信頼され、ともに成長する会社を目指します。

